

第10次富山県職業能力開発計画

(平成28年度～平成32年度)

実施状況

平成28・29年度

1 IoTの導入など生産性向上に向けた人材育成の強化

取組の基本方向

少子高齢化の進行による労働力人口の減少が進むなか、IoTやロボットなどの技術革新や、グローバル化に対応して、生産性の向上を図ることができる人材の育成を進めます。

【基本的施策の柱】

- (1) IoTの導入など生産性向上を担う人材育成の強化 (2) 労働者のキャリア形成や、企業における人材育成の支援

基本的施策と主な事業の実施状況

(1) IoTの導入など生産性向上を担う人材育成の強化

○能力開発セミナーにおけるものづくり自動化支援人材能力開発事業の実施

ものづくり産業に係るITに関連した富山県技術専門学院の行う在職者向け施設内訓練を開催（産業用ロボット、FA制御関連技術、自動化用センサーなどの技術）

	H27	H28	H29
受講者数	53人 (6コース)	18人 (2コース)	20人 (2コース)

※ ~H28は「デジタルものづくり人材育成講座」として実施



○OIT技術者養成科の設定

プログラミング等の情報処理技術の習得のための求職者向け訓練を、民間教育訓練機関からの企画提案募集により設定

○富山県IoT推進コンソーシアムの設置(H29~)

IoT導入活用支援のためのワークショップを開催

	H29
ワークショップ参加者	13社 16人

○富山県立大学知能デザイン工学科でのロボット工学等の分野の充実

企業との共同研究を実施

	H27	H28	H29
外部との共同研究の件数	10件	6件	3件

○最先端設備を活用した研究開発プロジェクトの実施

研究会を設置し、研究課題に関連する最前線の情報を学ぶ技術セミナーの開催

	H27	H28	H29
参加者数	214人	161人	163人

○長期インターンシップの実施

ものづくり研究開発センターの研究とのマッチングが可能な内容について、大学生等の研究生の長期間受入を実施

	H27	H28	H29
参加者数	12人	9人	4人

○スマートものづくり人材育成事業(キャリアアップコース・ものづくり監督者コース)の実施

企業内の中核技能者として、現場改善やコスト・生産技術マネジメントスキルの習得を図る研修を実施

	H27	H28	H29
キャリアアップコース受講者数	33人(2コース)	25人(2コース)	22人(2コース)

※～H28は「ものづくり人材パワーアップ研修(キャリアアップコース)」として実施

	H29
ものづくり監督者コース受講者数	13人

※ものづくり監督者コースはH29～



スマートものづくり人材育成研修

○グローバル人材育成講座の実施(能力開発セミナー)

ものづくり企業の海外ビジネスを支援するため、グローバル化に対応した在職者向け公共職業訓練の講座を開催

	H27	H28	H29
受講者数	12人	0人	4人
うちレディメイド	12人(2コース)	0人(0コース)	4人(1コース)
うちオーダーメイド	0人(0コース)	0人(0コース)	0人(0コース)



グローバル人材育成講座

○高度技能人材育成研修の実施

「とやまの名匠」等の熟練技能者によるCNC旋盤等の高度技能習得を図る実技研修を実施

	H27	H28	H29
受講者数	34人(8コース)	27人(8コース)	27人(7コース)



高度技能人材育成研修

(2)労働者のキャリア形成や、企業における人材育成の支援

○企業のキャリア形成支援の促進

技術専門学院の在職者向け訓練(能力開発セミナー)を、社内教育や自己啓発として利用することにより、企業が従業員のキャリア形成を支援する

	H27	H28	H29
能力開発セミナーの開催コース数	57コース	54コース	52コース

○職業能力開発推進者の選任

従業員の職業能力開発計画の作成や実施の推進者を選任

【実施状況は「6 職業能力開発の推進体制の整備」の目標指標に記載】

目標指標

●高度ものづくり人材の育成人数(累計)

	H27	H28		H29		H32 (目標)
	累計	累計	当年度	累計	当年度	累計
計	301人	359人	58人	425人	66人	651人
若い研究者を育てる会 (※)の共同研究に参加した 企業の研究者数	157人	166人	9人	175人	9人	
高度ナノテクに関する 研修会の受講者数	41人	47人	6人	49人	2人	
中堅以上の研修の 受講者数	68人	93人	25人	128人	35人	
能力開発セミナーの 受講者数	35人	53人	18人	73人	20人	

2 全員参加の社会の実現加速に向けた人材の育成

取組の基本方向

少子高齢化による労働力人口の減少が進むなか、労働力を維持・確保し、本県産業の活力を維持していくため、誰もが働きやすい環境の整備とともに、女性、若者、中高年齢者、障害者等、多様な人材が自らの能力を高め、その能力を有効に発揮できるよう、人材育成を推進します。

【基本的施策の柱】

- (1) 女性の職業能力開発への支援
- (2) 若者の職業能力開発への支援
- (3) 中高年齢者の職業能力開発への支援
- (4) 障害者の職業能力開発への支援
- (5) 外国人の職業能力開発への支援

基本的施策と主な事業の実施状況

(1) 女性の職業能力開発への支援

○女性の求職ニーズに応じた多様な職業訓練の実施

・施設内訓練

ものづくり分野で、女性も受講しやすい「金属ものづくり基礎科」を設定するとともに、簿記・会計、販売実務、介護等の訓練を実施

・委託訓練

育児等と両立しやすい短時間訓練をOA、医療事務、調理等の分野で設定するとともに、会計事務、IT、介護等の訓練を実施

	H27	H28	H29
離職者向け施設内訓練の女性受講者数	194人	188人	190人
離職者向け委託訓練の女性受講者数	436人	430人	362人

※当年度入校者数



○訓練中の託児サービスの提供

・施設内訓練と、民間委託訓練において、訓練中の託児サービスを提供

	H27	H28	H29
託児サービス利用者数(施設内訓練)	1人	2人	3人
託児サービス利用者数(民間委託訓練)	7人	10人	8人

○ものづくり女子育成事業(在職者向け)(H28～)

ものづくり若手女性技能者を対象として、女性技能者による体験談等の講話を実施(ものづくり女子力UPコース)
女性技能者向けの研修と上司向け研修により、女性技能者の育成・活力アップを図る(ものづくり女子活躍創出コース)

	H28	H29
ものづくり女子力UPコース参加者数	12人	32人
ものづくり女子活躍創出コース参加者数	—	14組

※ものづくり女子活躍創出コースはH29～

○女性の再就職パワーアップ応援事業

結婚・出産を機に一旦離職した女性の再就職のため、スキルの習得・職場見学会・キャリアコンサルティングを実施

	H27	H28	H29
受講者数	61人	62人	38人

○煌めく女性ネットワーク事業

県内企業等における女性の活躍を一層推進するため、リーダーをめざす女性社員の相互交流と自己研鑽を図り、業種・職種を超えたネットワークを構築する

	H27	H28	H29
煌めく女性リーダー塾修了者数	29人	68人	64人



女性の再就職パワーアップ応援事業



きらめく女性ネットワーク事業

(2) 若者の職業能力開発への支援

○技術専門学院の普通課程における学卒者訓練の実施

自動車整備科：(どういった背景を踏まえてこの訓練科を置いているかを記載)

メカトロニクス科：(どういった背景を踏まえてこの訓練科を置いているかを記載)

電子情報科：(どういった背景を踏まえてこの訓練科を置いているかを記載)

入校者数	H27	H28	H29
自動車整備科	20人	19人	20人
メカトロニクス科	14人	12人	11人
電子情報科	15人	11人	14人

○スマートものづくり人材育成事業(スタートアップコース)の実施

若手技能者の意欲の高揚、作業改善スキルの習得、チャレンジマインドの醸成を図る研修を実施

～H28は「ものづくり人材パワーアップ研修(スタートアップコース)として実施

	H27	H28	H29
スタートアップコース 受講者数	35人(2コース)	32人(2コース)	29人(2コース)



スマートものづくり人材育成研修

○若年技能者人材育成支援等事業の実施

県職業能力開発協会において、技能者の人材育成・技能尊重機運の醸成を図るため、高度な技能をもった「ものづくりマイスター」が中小企業等で若年技能者への実技指導及び技能士を活用した意識啓発事業等を実施

	H27	H28	H29
ものづくりマイスター出前講座 受講者数	94人(20団体)	105人(22団体)	100人(19団体)

○企業実習付訓練(デュアルシステムコース)の実施

座学と企業における実習を一体的に組み合わせた職業訓練の実施

【実施状況は「2 全員参加の社会の実現加速に向けた人材の育成」の目標指標に記載】

○ヤングジョブとやま(富山県若者就業支援センター)における支援

フリーター等の若年者の就業を支援するため、総合的な就職支援を実施

	H27	H28	H29
来所者数	20,033人	20,658人	22,788人
カウンセリング実施人数	1,060人	1,200人	1,148人
就職者数	894人	1,436人	1,719人
就職セミナー、合同企業説明会実施回数	161回	168回	169回

○富山県若者サポートステーションにおける支援

ニート等の若者の自立を促進するため、カウンセリングなどの就職支援を実施

【実施状況は「2 全員参加の社会の実現加速に向けた人材の育成」の目標指標にも記載】

	H27	H28	H29
若年者新規求職申込者数	15,824人	14,999人	14,163人
若年者紹介件数	20,034件	18,237件	16,888件
若年者就職者数	6,169人	5,952人	5,662人

○社会に学ぶ「14歳の挑戦」の実施

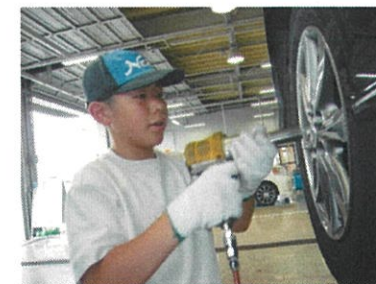
中学2年生が、1週間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加

	H27	H28	H29
参加者数	9,730人	9,290人	9,164人
受入事業所数	3,372箇所	3,260箇所	3,182箇所

○高校生インターンシップの実施

社会や職業について現実的な理解を深め、社会参画を考える機会を目的に就業体験を実施

	H27	H28	H29
体験者数	5,195人	5,085人	5,246人
体験率	73.9%	72.9%	74.5%



14歳の挑戦



高校生インターンシップ

○高校生に対するものづくり技能出前講座の実施

県職業能力開発協会において、工業高校の生徒等を対象に、「ものづくりマイスター」等の熟練技能者を派遣し、直接技能指導を実施

	H27	H28	H29
コース数	25コース	30コース	30コース
受講者数	277人	308人	364人



高校生に対する技能出前講座

○インターンシップ受入企業説明会の実施

より多くの学生がインターンシップ先として県内企業を選択するよう、県内企業の合同説明会を開催

○大学生等のインターンシップの実施体制の整備

富山県インターンシップ推進センターを設置(H29～)し、情報発信の強化、ホームページのマッチング支援機能による効果的なインターンシップを実施

	H27	H28	H29
インターンシップ参加者数	943人	1,163人	1,154人

○キャリア・コンサルタントの配置等の体制の強化

技術専門学院にキャリア形成支援室を設置

	H27	H28	H29
就職支援講座開催回数	33回	34回	32回
キャリア・コンサルティング実施回数	211回	443回	354回



キャリアコンサルティング

※参考データ: 富山県内におけるジョブ・カード取得者数の状況

H27	H28	H29
1,712人	2,527人	※1,996人

※平成30年2月現在

(3) 中高年齢者の職業能力開発への支援

○離職者向け職業訓練の実施

中高年齢者を含む、離職者の再就職につながる訓練の実施

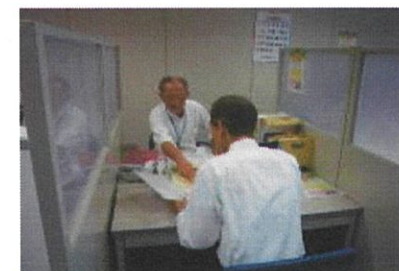
	H27	H28	H29
離職者向け施設内訓練受講者数(60歳以上)	67人	54人	51人
離職者向け委託訓練受講者数(60歳以上)	30人	34人	39人

○シルバー人材センター事業の実施

高齢者の生きがいや地域社会の発展のため、登録会員への仕事の紹介や技能講習を実施

	H27	H28	H29
会員数	7,878人	7,647人	7,437人
契約件数	86,681件	78,237件	※84,899件

※平成30年1月末現在



とやまシニア専門人材バンク

○とやまシニア専門人材バンクの運営

専門的な知識・技術等を有する概ね55歳以上の高齢者の就業と県内企業の人材確保を総合的に支援

	H27	H28	H29
登録者数	616人	550人	640人
登録企業数	268企業	249企業	269企業
就職者数	480人	490人	552人

○高度技能人材育成研修の実施【再々掲1(1)】

「とやまの名匠」等の熟練技能者によるCNC旋盤等の高度技能習得を図る実技研修を実施

	H27	H28	H29
受講者数	34人(8コース)	27人(8コース)	27人(7コース)

○若年技能者人材育成支援等事業の実施【再掲2(2)】

県職業能力開発協会において、技能者の人材育成・技能尊重機運の醸成を図るため、高度な技能をもった「ものづくりマイスター」が中小企業等で若年技能者への実技指導及び技能士を活用した意識啓発事業等を実施

	H27	H28	H29
ものづくりマイスター出前講座 受講者数	94人(20団体)	105人(22団体)	108人(19団体)

(4) 障害者の職業能力開発への支援

○障害者職業訓練コーディネーター等の配置

障害者に対して、職業訓練のコーディネート、訓練中の指導、就職支援及び関係機関との連携を実施

	H27	H28	H29
障害者職業訓練コーディネーター 配置人数	1人	1人	1人
障害者職業訓練支援員 配置人数	1人	1人	1人

○障害者の態様に応じた職業訓練(民間委託訓練)

	H27	H28	H29
知識・技能習得コース(集合訓練)	16人(2コース)	15人(2コース)	11人(2コース)
実践能力習得コース(個別訓練)	4人(4コース)	0人(0コース)	6人(6コース)
特別支援学校早期訓練コース(個別訓練)	5人(4コース)	7人(5コース)	6人(5コース)

○技術専門学院への精神保健福祉士などの専門家の配置

臨床心理士による放課後の相談(月2回)を実施

○障害者就労支援事業所とプロとのコラボによる人材育成事業の実施(H28～)

比較的能力の高い障害者を対象に、専門家が直接技術指導し、スキルや資格を身につけてもらい、一般就労につなげる。

	H28	H29
一般就労への就職	3人	2人

○技術専門学院のバリアフリー化

	スロープ	車椅子対応トイレ	エレベーター
本校	入り口	2箇所	1箇所
新川センター	入り口、2階まで	1箇所	—
砺波センター	入り口	1箇所	—

○障害者就業・生活支援センターにおける支援

障害者の就業を支援するため、就業面、生活面でのサポートを実施

	H27	H28	H29
就業者数	168人	172人	166人

○アビリンピック参加の促進

障害者の職業能力の向上や雇用の促進等のため、全国障害者技能競技大会(アビリンピック)の参加を促進

	H27	H28	H29
出場選手数	—	7人 (銀賞1人、銅賞1人)	7人 (銅賞1人)

※H27は国際アビリンピック開催のため、全国アビリンピックは不開催



アビリンピック選手団激励会

(5)外国人の職業能力開発への支援

○とやま外国人技能実習生受入促進事業(H29～)

外国人技能実習制度の見直しによる習得する技能の高度化に対応した技能向上講習の実施

	H29
開講回数	9回
受講者数	36人

○職業能力開発協会の人員体制等の強化(H29～)

外国人技能実習生向け技能検定(随時3級)の受検者増に対応

	H27	H28	H29
技能検定随時3級受検者数	4人	35人	375人
増員協会職員	—	—	2人

○外国人留学生を対象とした企業説明会や就職支援セミナーの実施

グローバル人材(外国人留学生・日本人留学経験者)向け就活イベント

	H27	H28	H29
外国人留学生参加者数	90人	78人	110人

○アセアン地域等からの外国人留学生受入・定着促進事業の実施

県内企業と連携し、就学から就業までを一体的に支援

	H27	H28	H29
県内企業への就職者数	—	—	—

第1期生：H27来日、H30.4～就職(2名)
 第2期生：H29来日、H30.4～大学院入学
 第3期生：H30来日予定

目標指標

●職業訓練修了者における女性の就職者数(計画期間累計)

	H27	H28	H29 (暫定値)		H32 (目標)
	当年度	当年度	累計(H28～)	当年度	累計(H28～)
就職者数	536人	482人	763人	281人	3,000人
うち施設内訓練	154人	146人	244人	98人	
うち委託訓練	382人	336人	519人	183人	

●富山県若者サポートステーションの就職等進路決定者数(累計)

	H27	H28		H29		H32 (目標)
	累計	累計	当年度	累計	当年度	累計
進路決定者数	1,191人	1,321人	132人	1,402人	81人	1,800人

●デュアルシステム訓練の受講者数

	H27	H28	H29	H32 (目標)
受講者数	70人	88人	79人	100人
うち施設内訓練	12人	20人	13人	20人
うち委託訓練	58人	68人	66人	80人

●障害者訓練受講者の就職率

	H23～H27の平均	H28	H29	H32 (目標)
就職率	52.8%	52.4%	73.9%	55.0%

●訓練生(離転職者)の就業率

	H23～H27の平均	H28	H29(暫定値)	H32 (目標)
施設内訓練	79.2%	78.8%	78.3%	85.0%以上
委託訓練	75.4%	82.3%	78.3%	80.0%以上

3 ものづくり産業の発展を支える人材の育成

取組の基本方向

本県ものづくり産業を支えるものづくり人材を育成するとともに、技能に対する社会的評価の向上、若者のものづくりマインドの醸成など、技能振興やものづくりを支える機運を醸成します。

【基本的施策の柱】

(1)ものづくり人材の育成

(2)技能の振興・ものづくりを支える機運の醸成

基本的施策と主な事業の実施状況

(1)ものづくり人材の育成

○成長分野や新技術の普及等に対応した職業訓練の実施

技術専門学院において、成長分野や新技術の普及等に対応した訓練を実施

学卒者訓練

- ・メカトロニクス科においてFA制御システムを導入し、生産現場に合わせた模擬ラインの運用管理やライン変更の訓練を実施

離職者訓練

- ・金属加工科及び金属ものづくり基礎科においてデジタル溶接機を導入し、溶接対象に応じた様々な溶接技能の訓練を実施
- ・エコ住宅リフォーム科において、3DCAD操作等の訓練を実施
- ・環境エネルギー設備科において、太陽光パネル取付けや燃料電池システム設置の訓練を実施

第一線で活躍する技術者等を外部講師とした能力開発セミナー

- ・介護・看護職のためのコーチング講座コース、海外人材の理解と仕事の教え方コース、FA制御関連技術コース、自動化用センサー技術コース、等

○企業実習付訓練(デュアルシステムコース)の実施【再掲2(2)】

座学と企業における実習を一体的に組み合わせた職業訓練の実施

【実施状況は「2 全員参加の社会の実現加速に向けた人材の育成」の目標指標に記載】

○高度技能人材育成研修の実施【再々掲1(1)】

「とやまの名匠」等の熟練技能者によるCNC旋盤等の高度技能習得を図る実技研修を実施

	H27	H28	H29
受講者数	34人(8コース)	27人(8コース)	27人(7コース)

○オーダーメイド型在職者訓練の実施

個々の企業の要望に応じて、日程、カリキュラム等の調整を行うオーダーメイド型の職業訓練を実施

	H27	H28	H29
受講者数	384人	424人	346人

○成長分野人材育成講座の実施

能力開発セミナーにおいて、ハイブリッド車整備や太陽光発電システム設計等、環境エネルギー分野に関する訓練コースを実施

	H27	H28	H29
受講者数	84人	82人	74人
うちレディメイド	17人(3コース)	14人(2コース)	22人(3コース)
うちオーダーメイド	67人(7コース)	68人(7コース)	52人(5コース)

○スマートものづくり人材育成事業(小規模企業出前コース)の実施

小規模企業の研修ニーズに対応したカリキュラムを県が企画し、現場改善等の専門家を講師として派遣

	H27	H28	H29
小規模企業出前コース 受講者数	37人(7企業)	25人(6企業)	10人(2企業)

～H28は「ものづくり人材パワーアップ研修(小規模企業出前コース)」として実施

○認定職業訓練校における職業訓練の実施

事業主団体等が知事の承認を受けて、従業員に対し実施する職業訓練

	H27	H28	H29
認定校数	14校 (普通課程9、短期課程10)	14校 (普通課程10、短期課程10)	15校 (普通課程10、短期課程11)

○ものづくり人材等正社員育成支援事業の実施(H29～)

富山県におけるものづくり産業の振興と将来の担い手の育成を図るため、県内中小企業が、正社員として雇入れようとする求職者に対し訓練付き雇用を実施しする場合に、助成

	H29
新たに雇い入れた正社員の人数	42人

○ものづくり職人確保育成事業(雇用型訓練)の実施(H28～)

高度熟練技能を有する職人の指導のもと、若者に雇用型訓練を実施することにより、ものづくり分野への就業を導くとともに技能の継承と後継者育成を図る

	H28	H29
訓練修了後に就職につながった人数	7人	5人

○とやま新伝統工芸人材確保育成事業(雇用型訓練)の実施(H28～)

伝統工芸産業において、新商品開発・販路拡大に積極的に取り組む事業者を公募し、当該企業が実施する雇用型訓練を支援し、伝統産業を新たな方向に導く人材の育成・確保を図る。

	H28	H29
訓練修了後に就職につながった人数	16人	20人

○伝統工芸「匠の技術」継承支援事業の実施

伝統工芸の後継者を育成するため、高い技術や希少な技法を伝承する意志のある職人(伝統工芸の匠)を派遣し、研修会場での少人数指導により技術・技法の継承を図る。

	H27	H28	H29
受講者数	一人	13人	9人

(2) 技能の振興・ものづくりを支える機運の醸成

○技能検定の実施

技能検定(特級、1級、2級、3級、単一等級、基礎級)を実施

ものづくり分野などの人材育成支援のため、技能検定受検料の若者減免を実施し、若者が受検しやすい環境を整備(H29～)

	H27	H28	H29
受検者数(基礎級及び随時級を除く)	2,123人	2,214人	2,207人
うち若者減免対象者数	—	—	485人

【合格率は「3 ものづくり産業の発展を支える人材の育成」の目標指標に記載】

○オーダーメイド型在職者訓練の実施【再掲3(1)】

個々の企業の要望に応じて、日程、カリキュラム等の調整を行うオーダーメイド型の職業訓練を実施

	H27	H28	H29
受講者数	384人	424人	346人

○職業能力開発協会による技能検定委員功労者表彰

多年にわたり技能検定委員として勤め、技能検定業務に貢献した功労者を表彰

	H27	H28	H29
表彰者数	9人	12人	13人

○「とやまの名匠」の認定

熟練技能を有し、技能の継承や後継者育成などの事業に指導者として、活動する技能者を「とやまの名匠」として認定

H29までの被認定者:24職種・84人



「とやまの名匠」認定式

○全国技能競技大会の参加

	H27	H28	H29
若年者ものづくり 競技大会	金賞(機械製図(CAD)) 銅賞(機械製図(CAD)) 【3職種5名出場】	銅賞(電子回路組立て) 敢闘賞(機械製図(CAD)) 【3職種4名出場】	銀賞(機械製図(CAD)) 銅賞(機械製図(CAD)、 建築大工) 敢闘賞(木材加工) 【5職種8名出場】
技能五輪 全国大会	銅賞(フライス盤) 【8職種15名出場】	銅賞(フライス盤) 敢闘賞(フライス盤、タイル 張り、建築大工) 【9職種18名出場】	敢闘賞(フライス盤、造園) 【7職種14名出場】
技能グランプリ	(隔年開催のため不開催)	金賞(造園<2名1組>) 敢闘賞(印章木口彫刻) 【3職種4名出場】	(隔年開催のため不開催)
全国障害者 技能競技大会 (アビリンピック)	(国際アビリンピック開催 のため不開催)	銀賞(表計算) 銅賞(ワード・プロセッサ) 【7職種7名出場】	銅賞(表計算) 【7職種7名出場】



技能五輪全国大会

○全国大会の上位入賞者への知事奨励賞の実施

技能五輪をはじめとする技能競技の全国大会において優秀な成績を収めた個人に対し顕彰

	H27	H28	H29
受賞者数	3人 (技能五輪全国大会銅賞、 若年者ものづくり競技大会金賞・銅賞)	6人 (技能グランプリ金賞(2人)、 技能五輪全国大会銅賞、 若年者ものづくり競技大会銅賞、 全国アビリンピック銀賞・銅賞)	4人 (若年者ものづくり競技大会銀賞・銅賞(2人)、 全国アビリンピック銅賞)

○ものづくり体験事業の実施

技術専門学院において、小学生等を対象としたものづくりの魅力や楽しさを体験する事業を実施

	H27	H28	H29
参加者数	292人	141人	126人



夏休みものづくり体験

○高校生に対するものづくり技能出前講座の実施【再掲2(2)】

県職業能力開発協会において、工業高校の生徒等を対象に、「ものづくりマイスター」等の熟練技能者を派遣し、直接技能指導を実施

	H27	H28	H29
コース数	25コース	30コース	30コース
受講者数	277人	308人	364人



高校生に対する技能出前講座

○北陸職業能力開発大学校のポリテックビジョンやオープンキャンパスへの技術専門学院からの出展

技術専門学院がブースを出展し、学院の訓練内容を紹介

○高校生ものづくりマイスター育成事業(H28～)

全国大会の上位入賞や高度な資格を取得した生徒を県独自に「マイスター」として認定するとともに、上位入賞等に向けた取組みを支援

	H27	H28	H29
とやま高校生ものづくりマイスター認定者数	一人	9人	31人

○ものづくり女子育成事業(H28～)(高校生向け)

女性に向けてものづくり産業の魅力をアピールし、ものづくり現場に興味をもってもらい「ものづくり女子」の増加を図る

	H28	H29
ものづくりの魅力発見コース(高校生向け)参加者数	101人(7校)	106人(6校)
製造業で活躍する女子による出前講座(高校生向け)参加者数	880人(8校)	407人(4校)



ものづくり女子育成事業(高校生向け)

目標指標

●公共職業訓練(学卒者)の正社員就職率

	H27	H28	H29	H32 (目標)
正社員就職率	100%	97.8%	100%	100%

●能力開発セミナーの受講率

	H23～H27の平均	H28	H29	H32 (目標)
受講率	51.3%	29.5%	27.7%	55%以上

●技能検定の合格者数及び合格率(基礎級及び随時級を除く)

	H27	H28	H29	H32 (目標)
合格者数	1,068人	1,125人	1,105人	1,100人
合格率	50.3%	50.8%	50.1%	55%以上

●技能五輪の参加者数及び上位入賞者数

	H27	H28	H29	H32 (目標)
参加者数	15人	18人	14人	20人以上
上位入賞者数	上位入賞 3位1人	上位入賞 3位1人	—	優勝

4 地域の担い手となる人材の育成 ～介護、建設など～

取組の基本方向

少子高齢化や産業構造の変化などが進展するなか、労働力需給ギャップが拡大しており、人手不足となっている介護・福祉、建設業などの分野で、地域ニーズに対応した人材育成を進めます。

基本的施策と主な事業の実施状況

○介護分野の職業訓練の実施

求人ニーズの高い介護分野の求職者向け職業訓練を実施

	H27	H28	H29
施設内訓練 定員	96人	96人	96人
委託訓練 定員	485人	371人	287人

○建設分野の職業訓練の実施

求人ニーズの高い建設分野の求職者向け職業訓練を実施

	H27	H28	H29
施設内訓練 定員	70人	60人	60人
委託訓練 定員	60人	60人	30人



介護系職業訓練

○潜在的介護従事者等支援研修の実施

一定期間介護現場を離れている潜在的有資格者に対する研修を実施し、福祉現場への再就職を支援

	H27	H28	H29
受講者数	44人	一人	一人

H27年度で終了

○主任ケアマネジャー医療介護連携研修の実施

介護サービスの充実を図るため、介護関係職員を対象とした在宅医療・介護連携のための実習を含めた研修会を開催

	H27	H28	H29
受講者数	26人	22人	16人

○建設関係の認定職業訓練校における職業訓練の実施【一部を再掲3(1)】

事業主団体等が知事の承認を受けて、従業員に対し実施する職業訓練

	H27	H28	H29
建設関係 認定校数	5校 (普通課程4、短期課程4)	5校 (普通課程5、短期課程4)	5校 (普通課程5、短期課程4)

○地域創生人材育成事業において雇用型訓練を実施

求人ニーズの高い介護・保育・建設の分野で雇用型訓練を実施

	H27	H28	H29
富山型デイサービス施設人材確保育成事業：雇用型訓練修了後に就職につながった人数	※0人	5人	2人
介護従事者確保育成事業：雇用型訓練修了後に就職につながった人数	※0人	10人	1人
特定地域における介護人材確保育成事業：雇用型訓練修了後に就職につながった人数	10人	9人	3人
特別保育充実促進事業：雇用型訓練修了後に就職につながった人数	4人	14人	0人
若者・女性建設人材育成事業：雇用型訓練修了後に就職につながった人数	—	7人	6人

※は、訓練終了が翌年度のため0人

若者・女性建設人材育成事業はH28～(H28は建設人材確保育成事業)

○職業訓練指導員の資質向上

職業能力開発総合大学校等において、技術専門学院の指導員が専門分野の指導技能の向上、新分野の指導技法の習得研修を受講

	H27	H28	H29
受講者数	15人	18人	17人

○富山県福祉カレッジにおけるキャリアアップ研修の実施

富山県社会福祉協議会が運営する富山県福祉カレッジにおける福祉従事者を対象とした研修

	H27	H28	H29
受講者数	7,023人	7,237人	8,911人

○建設人材教育訓練等事業

従業員に対する資格取得の取組みや新入社員向けの座学・実地研修を行う建設業者を支援
 高校・大学生に対し、外部訓練機関における専門的な研修の受講機会を提供

	H27	H28	H29
受講者数	22人	24人	22人

○技術専門学院の在職者向け訓練(能力開発セミナー)の開催

人手不足となっている介護・福祉、建設業の分野での技術専門学院における在職者向け訓練(能力開発セミナー)の開催

	H27	H28	H29
受講者数	77人	83人	72人

○とやま農業未来カレッジ研修等の実施

若手農業者の資質向上を図るカレッジでの通年研修・短期研修や就農準備研修等により、次世代の農業人材を育成

	H27	H28	H29
カレッジ通年研修 受講者数	16人	14人	9人
カレッジ短期研修 受講者数	18人	21人	24人
就農啓発 受講者数	21人	16人	10人
就農準備研修 受講者数	8人	6人	7人
農業体験 受講者数	3人	9人	6人

○富山県林業カレッジ研修等の実施

低コスト生及び主伐・再造林・保育といった持続的可能な森林経営を実践できる人材を育成

	H27	H28	H29
林業カレッジ研修受講者数	81人	60人	38人

○介護サポーター養成・就労支援事業(H29～)

介護サポーター(助手)として働く意欲のある、元気な中高年齢層や子育て後の未就労の女性などの多様な人材の活用を図る

	H29
サポーター養成研修とステップアップ研修の参加者数	84人

○元気とやま福祉人材確保・応援プロジェクト事業

※別紙のとおり

○介護実習連携強化応援事業

介護福祉士養成課程の介護実習を効果的に実施するため、介護施設の実習指導者への研修を実施。

	H27	H28	H29
参加者数	一人	353人	369人

○がんばる介護事業所表彰事業(雇用環境部門)

雇用環境の改善に取り組み事業所を表彰

	H27	H28	H29
表彰事業所数	人	4人	2人

目標指標

●介護、建設などに関連する分野の公共職業訓練受講者の就職者数(計画期間累計)

	H27	H28	H29(暫定値)		H32 (目標)
	当年度		累計(H28～)	当年度	累計(H28～)
就職者数	203人	187人	278人	91人	1,100人
うち施設内訓練	87人	90人	141人	51人	
うち委託訓練	116人	97人	137人	40人	

5 新たな時代に対応した人材の育成 ～観光など～

取組の基本方向

北陸新幹線の開業という新たな時代に対応し、今後、新たな取組が求められる観光などの分野において多様なニーズに対応した人材育成を進めます。

基本的施策と主な事業の実施状況

○観光ビジネス人材育成支援訓練コース(民間委託訓練)の実施

北陸新幹線の開業により雇用拡大が期待される観光ニーズに対応した訓練コースを設置

	H27	H28	H29
観光サービス科 入校者数	18人	—	—
観光サービス・プランニング科 入校者数	—	29人	24人

このほか、ホテル・ブライダル科(長期高度人材育成コース)を開設(H30～)

○とやま観光未来創造塾の実施

おもてなし力の向上、観光ガイド、観光魅力アップ等の研修会を開催

	H27	H28	H29
修了者数	65人	43人	66人

○とやま観光未来創造塾(観光地域づくりマネジメントコース)の実施(H29～)

とやま観光未来創造塾のOB生を対象として、地域を巻き込んでマネジメントできる人材を育成

	H29
受講者数	3組(17人)

○とやま観光未来創造塾(グローバルコース)の実施

訪日外国人旅行者向け観光商品の企画・販売ができる人材の育成

	H27	H28	H29
受講者数	2人	1人	2人



とやま観光未来創造塾

○外国人対応サービス人材育成訓練の実施

県内観光事業者等で雇用型訓練を行い、外国人旅行者への接遇、サービス提供ができる人材を育成

	H27	H28	H29
受講者数	5人	12人	6人

○国際観光インターンシップ促進事業(H29～)

ホテル・旅館が受け入れるタイ・台湾のインターンシップ学生に対する日本語研修や県内観光ツアー研修を支援

	H29
参加者数	39人

目標指標

●観光に関連する分野の公共職業訓練受講者の就職者数(計画期間累計)

	H27	H28	H29(暫定値)		H32 (目標)
	当年度		累計(H28～)	当年度	累計(H28～)
就 職 者 数	13人	16人	25人	9人	100人

6 職業能力開発の推進体制の整備

取組の基本方向

国、県をはじめ、能力開発に携わる関係機関との役割分担と連携の促進を図り、効率的・効果的な取組に努めるとともに、多様化、高度化する人材ニーズを踏まえ、県の行う職業能力開発施策を充実します。

【基本的施策の柱】

- (1) 県が行う職業能力開発の向上・改善
- (2) 国、県、機構、民間訓練機関、産業界との連携促進
- (3) 企業の職業能力開発力向上への支援

基本的施策と主な事業の実施状況

(1) 県が行う職業能力開発の向上・改善

○企業ニーズや成長分野に対応した訓練機器の導入(H26～)

技術専門学院に企業ニーズや成長分野に対応した訓練機器を導入し訓練環境の改善を図る

H26	・3Dプリンターの導入 ・ロボット制御装置の導入 ・耐震・耐熱・内装施工実習用装置の導入
H27	・デジタル溶接機(TIG溶接、MAG溶接)の導入
H27	・ワイヤカット放電加工機の導入
H29	・FA制御システムの導入

○職業訓練推進協議会議(外部委員会)の開催

技術専門学院において、労働局、経済団体、企業等で構成する外部委員会「職業訓練推進協議会」を開催

【H29開催状況】

平成30年2月20日



外部委員会

○職業訓練指導員の資質向上【再掲4】

職業能力開発総合大学校等において、技術専門学院の指導員が専門分野の指導技能の向上、新分野の指導技法の習得研修を受講

	H27	H28	H29
受講者数	15人	18人	17人

○離転職者訓練の実施

雇用情勢や求人ニーズに応じて、技術専門学院や民間教育訓練機関において離転職者訓練を実施

○巡回就職支援指導員等の配置

技術専門学院において、就職情報の提供や訓練委託先の開拓等を実施

	H27	H28	H29
配置人数	16人	16人	16人

○キャリア・コンサルタントの配置等の体制の強化【再掲2(2)】

技術専門学院にキャリア形成支援室を設置

	H27	H28	H29
就職支援講座開催回数	33回	34回	32回
キャリア・コンサルティング実施回数	211回	443回	354回



キャリアコンサルティング

○県の推進体制の強化

勤労者福祉、労働力確保や職業能力開発を一体的に推進するための体制の整備
・労働雇用課と職業能力開発課を統合し、労働政策課とする

(2) 国、県、機構、民間訓練機関、産業界との連携促進

○関連機関相互の連携会議の開催

効果的な訓練の実施に向けての連携会議を開催

富山県地域訓練協議会、職業訓練担当者連絡会議、雇用対策連絡調整会議、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会等
連絡会議において、訓練等の情報共有や意見交換を実施

○委託訓練コースの見直し

求人企業の人材ニーズに応じた弾力的な訓練コースの見直し

H28	・観光サービス科(3か月)を観光サービス・プランニング科(4か月)に拡充 ・介護職員(実務者)養成科の定員を拡充
H29	・IT技術者養成科を新設

・求職者支援制度

雇用保険を受給できない求職者が、職業訓練によるスキルアップを通じて早期就職を目指すための制度

求職者支援訓練を実施するとともに、訓練受講期間中、一定要件を満たす場合に、月額10万円を上限とする給付金を支給

【求職者支援訓練の計画定員(開講コース定員)】 H27:570人(426人) H28:500人(336人) H29:480人(271人)

(3) 企業の職業能力開発力向上への支援

○職業能力開発推進者の選任【再掲】

従業員の職業能力開発計画の作成や実施の推進者を選任

【実施状況は「6 職業能力開発の推進体制の整備」の目標指標に記載】

○職業能力開発推進者講習会の実施

県職業能力開発協会における職業能力開発推進者の資質向上を図る講習会の実施

	H27	H28	H29
受講者数	87人	95人	58人

○職業能力開発優良企業表彰の実施

従業員に対し、能力開発教育訓練を実施し、顕著な訓練効果を挙げている企業を県が表彰

	H27	H28	H29
受賞企業数	3企業	2企業	1企業

○認定校の企業表彰の実施

認定職業訓練校に携わっている者で運営に多大の尽力をしている者を県職業能力開発協会が表彰

	H27	H28	H29
受賞者数	1人	2人	1人

○オーダーメイド型在職者訓練の実施【再々掲3(1)】

個々の企業の要望に応じて、日程、カリキュラム等の調整を行うオーダーメイド型の職業訓練を実施

	H27	H28	H29
受講者数	384人	424人	346人

○とやま中小企業人材育成カレッジの開講

経営者や従業員等の資質向上を図る講座を実施

	H27	H28	H29
受講者数	198人	170人	256人

※H29より「富山県中小企業大学校」から改称



職業能力開発優良企業表彰



富山県中小企業大学校

目標指標

●職業能力開発推進者の選任数

	H27	H28	H29	H32 (目標)
選任数	1,877人	一人	一人	2,000人
うち100人以上事業所	371人	一人	一人	400人

協会への委託業務終了により非公表

厚生労働省におけるリカレント教育の充実等に関する取組

(人生100年時代構想会議 厚生労働大臣提出資料)

第4次産業革命が進む中、人生100年時代を見据え、誰もが、いくつになっても、ライフスタイルに応じたキャリア選択を行い、新たなステージで求められる能力・スキルを身に付けることのできる環境を整備し、一人ひとりの職業能力の開発・向上を支援する。

※下線部は、第3回(11/30)人生100年時代構想会議以降に検討を深めた施策

キャリアアップ プロセスのモデル

企業が求める能力
と自ら有する能力
を理解し、キャリア
プランを再設計

新たな
ステージへ

リカレント
教育

自分に合った
キャリアを選択

【施策の方向性①】人生100年時代を見据えて人生を再設計し、一人一人のライフスタイルに応じたキャリア選択を行うことを支援

- 労働者が企業内で定期的にキャリアコンサルティングを受ける仕組み(セルフ・キャリアドック)の普及を加速させ、中高年齢期をも展望に入れたキャリアコンサルティングを推進

【施策の方向性②】リカレント教育機会の更なる拡充

- ◆ **教育訓練給付の拡充**
 - 専門実践教育訓練給付の対象となる講座の期間を最長4年に拡充し、専門職大学等の課程を追加
 - 一般教育訓練給付の拡充(キャリアアップ効果の高い講座を対象に、給付率を引上げ)
- ◆ **短時間労働者等への支援の拡充**
 - 雇用保険に加入できない短時間労働者やフリーランスなどの方々も受講でき、働きながらも受けやすい正社員就職のための職業訓練コースを充実
- ◆ **事業主等による教育訓練への支援の拡充**
 - 基礎的ITリテラシー習得のための職業訓練の開発・実施
 - 企業がeラーニングを活用して従業員に対して行う教育訓練も、助成金により支援
 - 教育訓練の指導人材の育成について、関係省庁が行う施策と連携しつつ、支援を検討

【施策の方向性③】学び直しに資する環境の更なる整備

- ◆ **個人の学び直しに資する環境の整備**
 - 事業主が長期の教育訓練休暇制度を導入し、一定期間以上の休暇取得実績が生じた場合、助成金により支援
 - 様々なニーズに対応した教育訓練プログラムを、関係機関と連携し積極的に開発(例:企業の技術者向けの最新かつ高度な知識・技能の習得に資する教育訓練プログラム、時間の制約の多い社会人向けの教育訓練プログラム)
- ◆ **能力向上の重要性への理解を深め、技能を尊重する社会的機運の醸成**
 - 2023年技能五輪国際大会の我が国(愛知県)への招致
 - 技能五輪国際大会に向けた「選手強化策パッケージ」により、世界レベルの高度技能者を集中的に育成

【施策の方向性④】転職が不利にならない柔軟な労働市場や企業慣行の確立

- 転職が不利にならない柔軟な労働市場や企業慣行の確立、転職・再就職者の受入れ促進の機運の醸成に向けて、「年齢にかかわらず転職・再就職者の受入れ促進のための指針」を策定し、経済界に要請する。

参考資料